

**2020年12月期
決算説明資料**

**2021年3月3日
株式会社やまびこ**

1. 2020年12月期		
決算概要	2
2. 2021年12月期		
業績予想	10
3. 2021年12月期		
経営方針および重点施策など	15
添付資料		
会社概要など	27

1. 2020年12月期 決算概要

新型コロナウイルスの感染拡大による在宅時間の増加や各国政府による経済対策を背景に、国内は全てのセグメントが前年を上回り、海外も北米OPEが販売を牽引して、売上高・利益ともに過去最高を更新。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	市場概況	当社状況 (現地販売)
国内	小型屋外 作業機械 (OPE)	● 順調な天候や政府による特別定額給付金などを背景に、刈払機の出荷実績は前年を上回った。	
	農業用 管理機械	● 政府の経済対策などにより防除機は増加も、トラクタやコンバインなどの大型機種が消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、1-12月の農業機械出荷額は前年比16.4%減（日本農業機械工業会）。	
	一般産業用 機械	● 国内需要は10月から3か月連続で回復したものの、1-12月の建設機械出荷額は前年比2.4%減（日本建設機械工業会）。	
海外	小型屋外 作業機械 (OPE)	● 北米市場：新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加や経済対策などにより需要が増加。	
		● 中南米市場：政情不安・経済問題は継続も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加により市場が回復。	
		● 欧州市場：ロシアは低迷も西欧は新型コロナウイルスの感染拡大による販売活動の規制緩和後は好調が継続。	
	農業用 管理機械	● 北米市場：期末にかけて穀物価格の回復に伴い需要環境が改善。	

2020年12月期 経営成績



(百万円)	19/12期 実績	構成比 (%)	20/12期 実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	120,922	100.0	131,972	100.0	+ 9.1
売上原価	86,928	71.9	94,331	71.5	+ 8.5
販管費	27,791	23.0	27,997	21.2	+ 0.7
営業利益	6,203	5.1	9,643	7.3	+ 55.5
経常利益	5,917	4.9	9,402	7.1	+ 58.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,164	3.4	6,635	5.0	+ 59.3

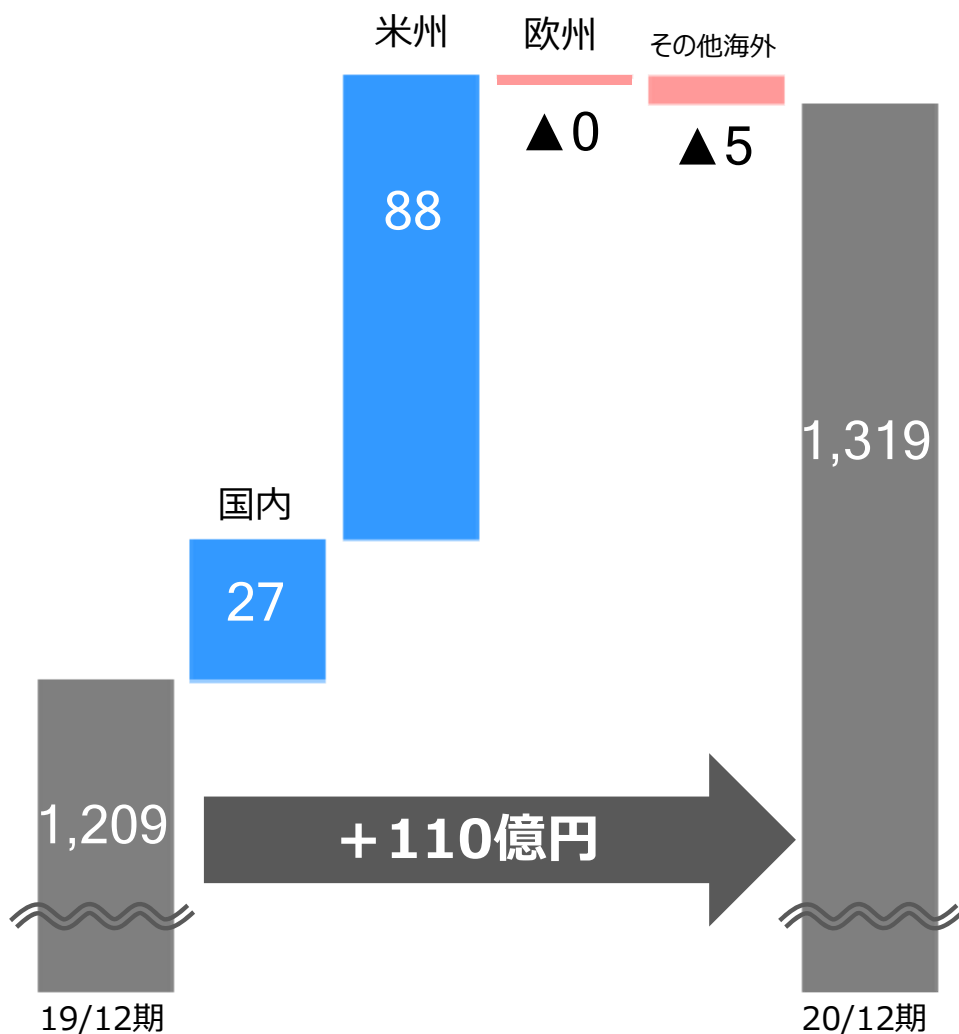
為替レート

1ドル	当社レート	109 円	107 円	▲ 2.4
	米国子会社 換算レート	109 円	107 円	▲ 2.1
1ユーロ		123 円	122 円	▲ 0.5

- ✓ 売上高は、国内はOPEと農機が伸長し産機も前年並みとなり増収。海外は産機が低迷したものの北米OPEが大幅に伸長して増収。
- ✓ 営業利益は円高が利益を圧迫したものの、OPE販売が大幅に伸長したことにより増益。経常利益、最終利益ともに増益となり過去最高を記録。

連結売上高の増減

(億円)



【国内】

OPEは単籠り需要や新製品効果により大幅伸長し、農機は政府の経済対策に伴い防除機が持ち直して増収。

【米州】

北米は産機販売が落ち込んだものの、在宅時間の増加やトランプ政権による経済対策に伴ってOPE販売が伸長し大幅な増収。

【欧州】

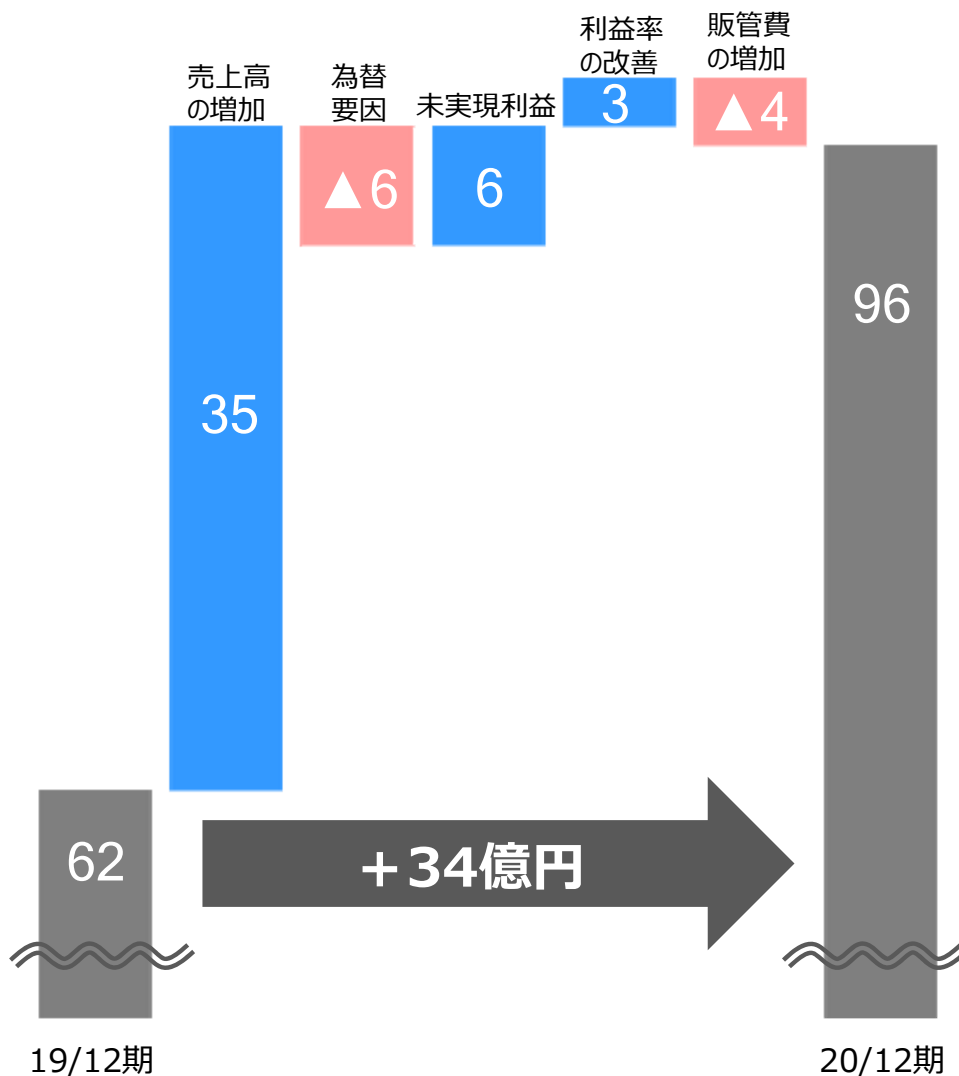
ロシアは低迷も、西欧は新型コロナウイルスの感染拡大による販売活動の規制緩和後に急回復し前年比プラス。

【その他海外】

アジアおよびオセアニアで新型コロナウイルスの感染拡大による販売活動の規制を受け減収。

連結営業利益の増減

(億円)



【売上高要因】

実質売上高の増加による利益の増加。

【為替要因】

主に円高ドル安に伴う利益の減少。

【未実現利益】

20年12月期 5.9億円 ⇒ 差額6.4億円
19年12月期 △0.4億円

【利益率】

国内外の売上構成の変化による利益率改善。

【販売管理費】

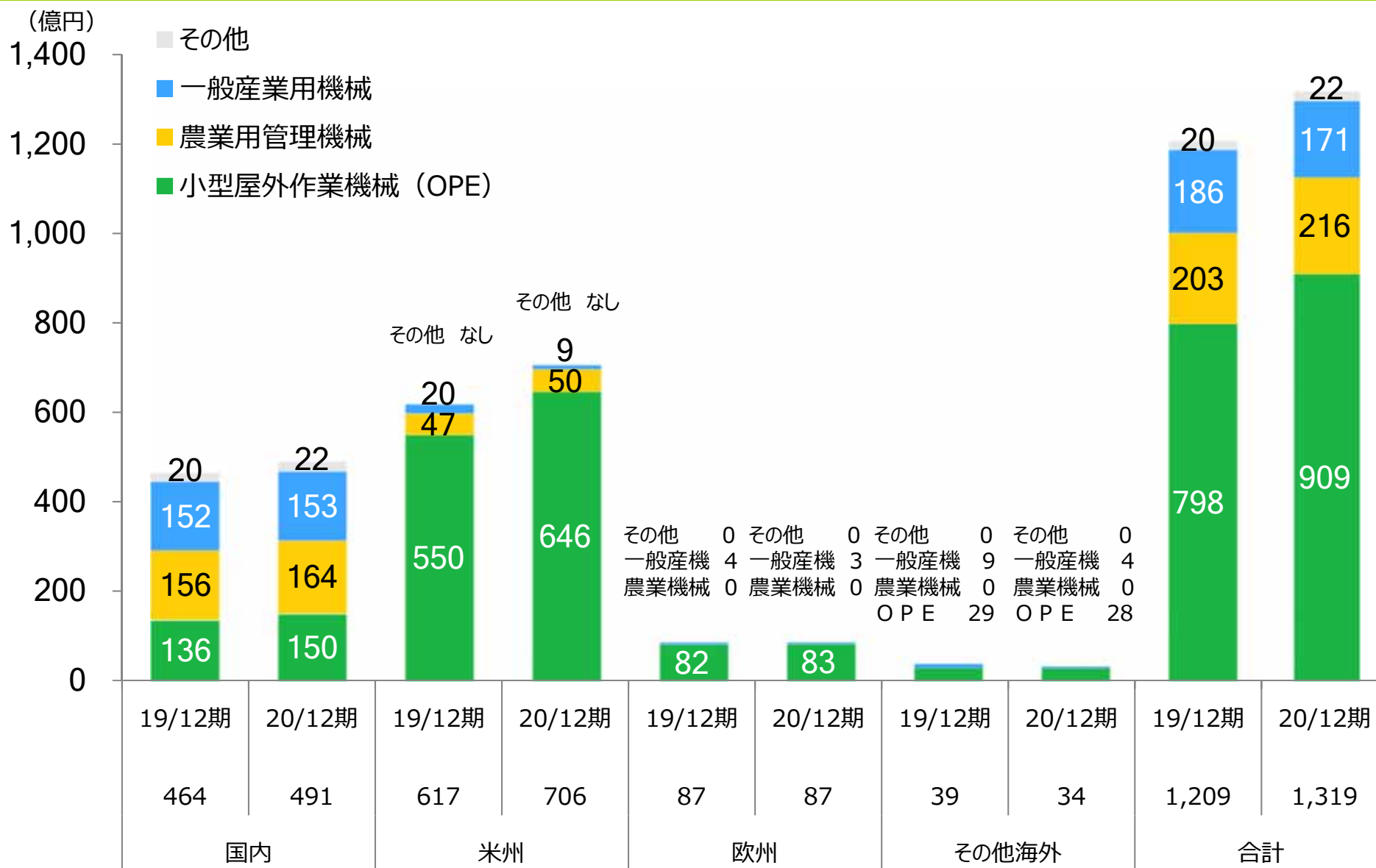
営業費用等減少するも、従業員還元、IT管理費用の増加など。

セグメント別経営成績

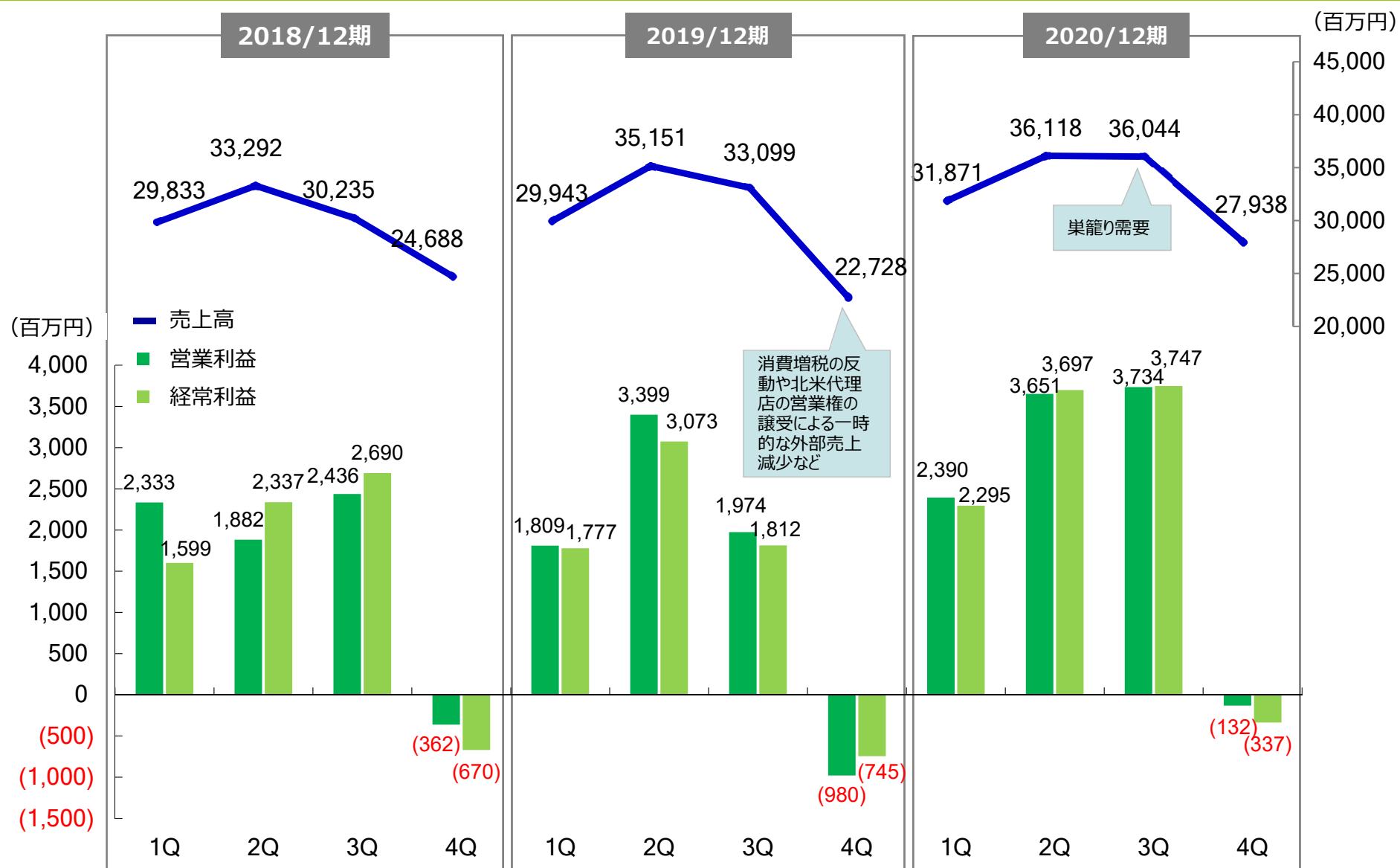


(百万円)	19/12期 実績		20/12期 実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	120,922	100.0	131,972	100.0	+ 9.1
小型屋外作業機械	79,840	66.0	90,954	68.9	+ 13.9
農業用管理機械	20,390	16.9	21,629	16.4	+ 6.1
一般産業用機械	18,681	15.4	17,108	13.0	▲ 8.4
その他	2,011	1.7	2,280	1.7	+ 13.4
営業利益	6,203	-	9,643	-	+ 55.5
小型屋外作業機械	10,769	173.6	14,546	150.8	+ 35.1
農業用管理機械	▲ 144	▲ 2.3	86	0.9	-
一般産業用機械	1,397	22.5	860	8.9	▲ 38.4
その他	350	5.6	441	4.6	+ 25.8
全社共通費	▲ 6,169	-	▲ 6,290	-	-

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2021年12月期 業績予想

《セグメント別 事業環境認識》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	市場概況
国内	小型屋外作業機械 (OPE)	● 主に定額給付金効果と巣籠り需要で伸長した前年の反動を見込む。
	農業用管理機械	● 農業就業人口は引き続き減少・高齢化が継続。省人・省力化に寄与する製品ニーズは高い。
	一般産業用機械	● 住民拠点サービスステーション整備事業は終了も、防災・減災・国土強靱化に伴う公共事業需要は引き続き堅調な需要を想定。
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	● 北米市場：新型コロナウイルスの感染拡大によるステイホーム需要は上半期までは継続を見通すも、その後の需要動向は不透明。ホームオーナーの需要が増加。
		● 欧州市場：新型コロナウイルスの感染拡大からの回復が継続。北欧を中心にバッテリー化が進み、南欧はエンジン製品が好調。
	一般産業用機械	● 前年の低迷から新型コロナウイルス感染収束に伴う回復を予想。

2021年12月期（通期） 予想



(百万円)	20/12期 実績	構成比 (%)	21/12期 予想	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	131,972	100.0	128,000	100.0	▲ 3.0
売上原価	94,331	71.5	91,700	71.6	▲ 2.8
販管費	27,997	21.2	29,600	23.1	+ 5.7
営業利益	9,643	7.3	6,700	5.2	▲ 30.5
経常利益	9,402	7.1	6,700	5.2	▲ 28.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,635	5.0	4,800	3.8	▲ 27.7

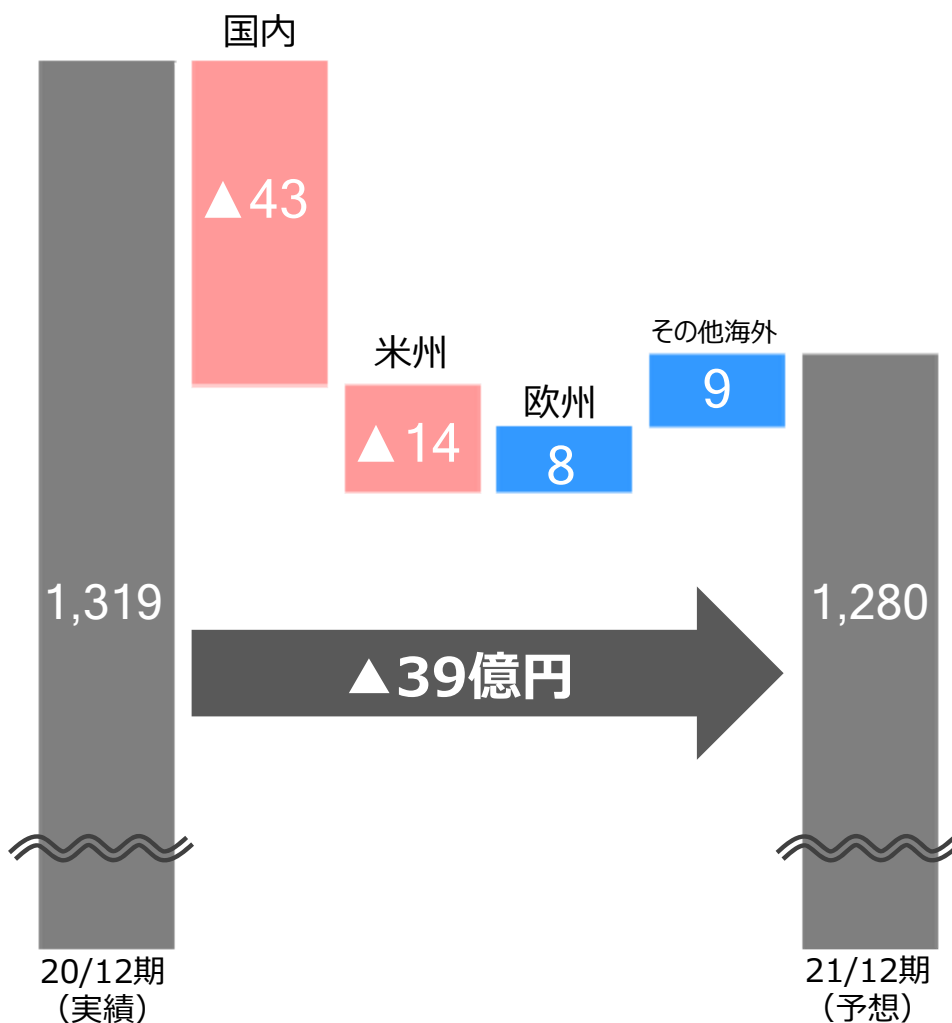
為替レート

1ドル	当社レート	107 円	105 円	▲ 1.7
	米国子会社 換算レート	107 円	105 円	▲ 1.6
1ユーロ		122 円	120 円	▲ 1.7

- ✓ 売上高は、海外は欧州OPEや北米産機が需要減退からの回復を予想するも、国内は政府の経済政策に支えられて前年大きく伸長した農機や住民拠点サービスステーション整備事業の発電機などが反動により減収を見込む。
- ✓ 生産性向上により原価率が改善するも、販売数量の減少による利益の押し下げや国内外の開発投資などにより、前年と比べて営業利益、経常利益、最終利益ともに減益を見込む。

連結売上高の増減（予想）

(億円)



【国内】

好調な前年の反動を見込む。

【米州】

高い需要が年後半に沈静化。

【欧州】

西欧を中心に高い需要が継続。

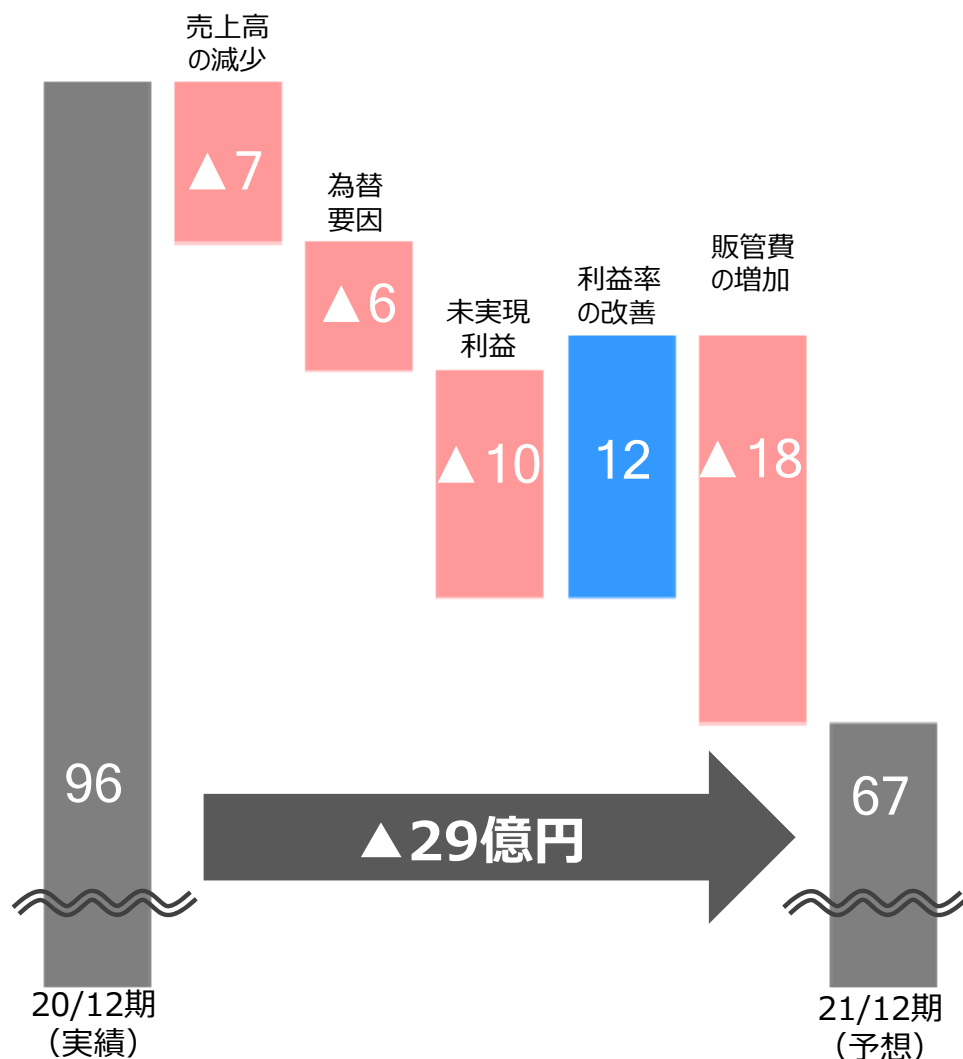
【その他海外】

前年落ち込んだ需要は回復を見込む。

連結営業利益の増減（予想）



(億円)



【売上高要因】

実質売上の減少に伴う利益の減少。

【為替要因】

主に円高ドル安に伴う利益の減少。

【未実現利益】

21年12月期 Δ 4.4億円 \Rightarrow 差額10.4億円
20年12月期 5.9億円

【利益率】

量産効果と原価低減活動による利益率改善。

【販売管理費】

開発投資、ITインフラのセキュリティ強化や販売活動の正常化に伴う費用増加など。

3. 2021年12月期

経営方針および重点施策など

2021年12月期は5つの施策に重点的に取り組む

1

開発組織の再編

2

経営基盤の強化

3

IT基盤の強化とDX

4

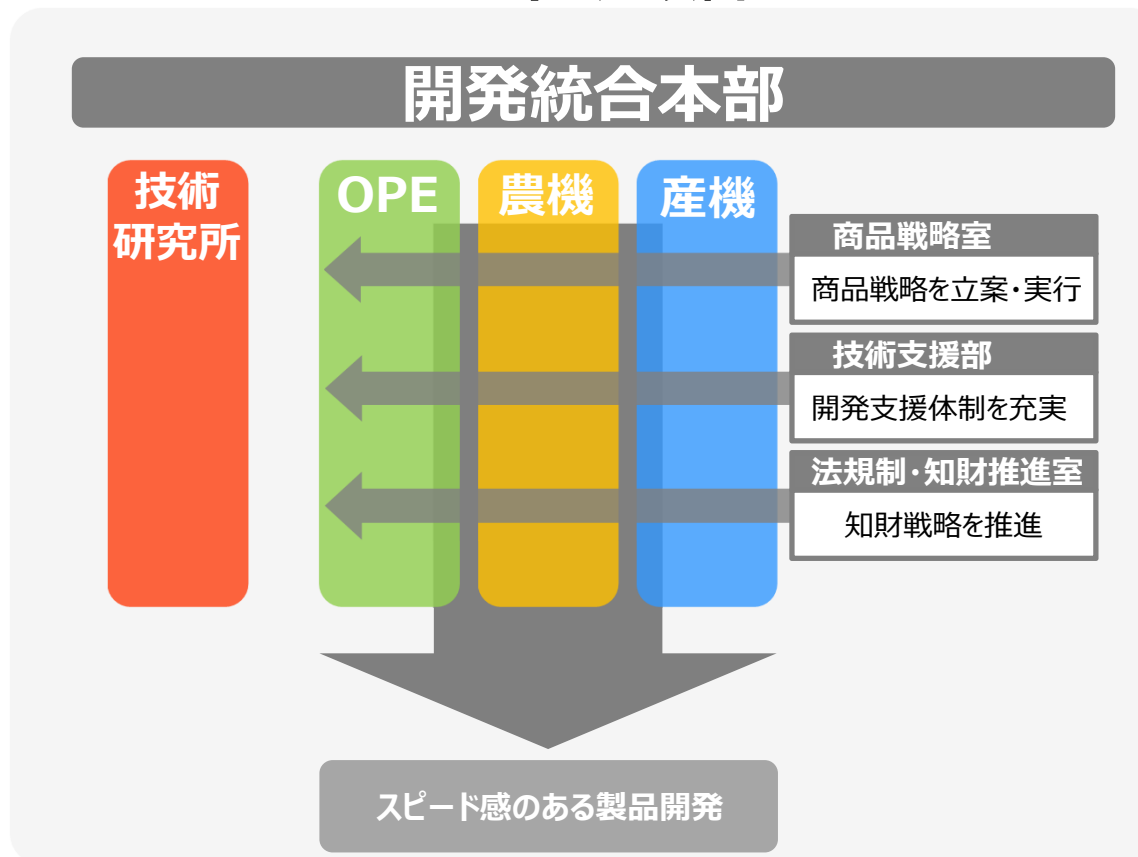
売上の拡大と収益性の向上

5

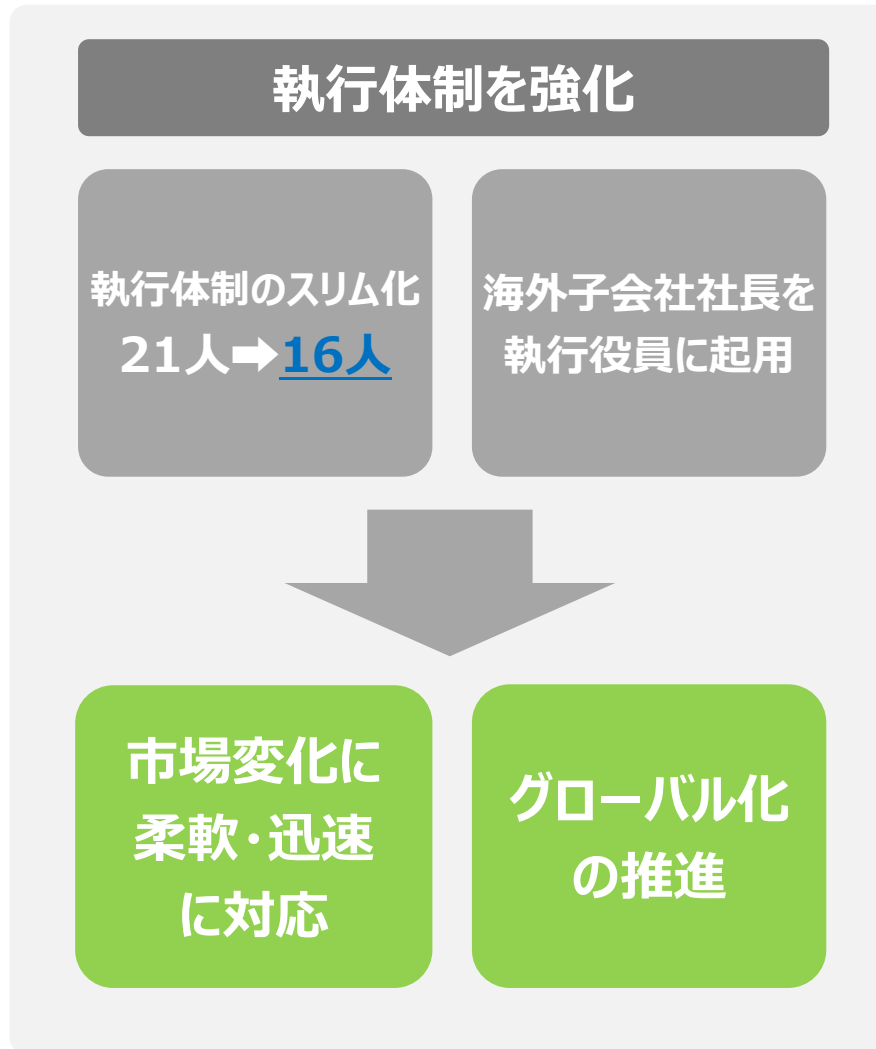
やまびこグループのサステナブル経営

- 総合力を発揮できる組織へ再編
- 商品戦略室と技術支援部を新設し、全社の商品戦略を立案・実行すると共に、開発支援体制を充実させ、開発効率の向上を図る

2021年4月以降



- 従来のセグメント別組織に機能別組織を加えたマトリックス組織
- 「技術研究所」を設置
➡セグメントの枠にとらわれない収益性を意識した新規開発組織
- 「商品戦略室」を設置
➡全社の商品戦略を立案・実行
- 「技術支援部」を設置
➡技術スタンダード、部品表統一等を推進
- 「法規制・知財推進室」を設置
➡法規制情報の取りまとめに加え、経営に対して経営戦略策定に資する知財情報を発信



- 意思決定のスピードを上げる
- グローバル経営の深化
- 取締役会の監督機能を高め
執行体制を強化
- 人事制度改定を進める

IT基盤の強化

- デジタル戦略室の設立
- 基幹システム、ネットワークの最適化
- デジタル戦略に基づいた案件の組成

DXの推進

ロボット芝刈機



TM-2000

北米デジタルマーケティングの一例



散布ナビゲーション搭載
ブームスプレーヤ



BSQ6002-ME

データ収集・解析



将来のデジタルビジネスモデルの展開

プロ向け戦略



■プロ向けブランドイメージの向上

北米・欧州
プロ向け製品「Xシリーズ」の新モデルを市場投入

グローバル
市場に合わせた販売戦略を展開

ラインナップ拡充



■環境負荷の低いエンジンモデルを継続投入

■バッテリー製品を投入 ハイエンド

➔バッテリーR&Dセンターを北米に設置

自社開発の高性能製品を市場に投入

ミッドレンジ

➔他社との提携により、機動的に市場に投入

販売戦略の強化



■主力市場に注力

ホームデポとの継続的なプロモーション展開

代理店は販売機会の拡大に注力

新規ディーラーの開拓、深耕

原価低減



■ 新生産方式による製造リードタイムの短縮と製品在庫の削減

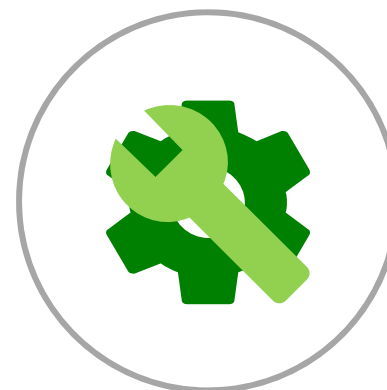
拠点の見直し



■ 生産拠点を見直し、効率的な生産体制に整備

蘇州山彦農機有限公司を清算し、愛可機械有限公司に集約

サービス力強化



■ 修理・サービスの事業化やアクセサリーの販売を促進

産機等のIoTを活用した遠隔サービスを予定

収益性の高い部品・アクセサリーの販売を促進

➤ 事業活動そのものが、自然環境や社会環境への課題解決に貢献。



全セグメント
安心・安全なものづくり



小型屋外作業機械



独自の技術力でエコに貢献



農業用管理機械
持続可能な農業を推進



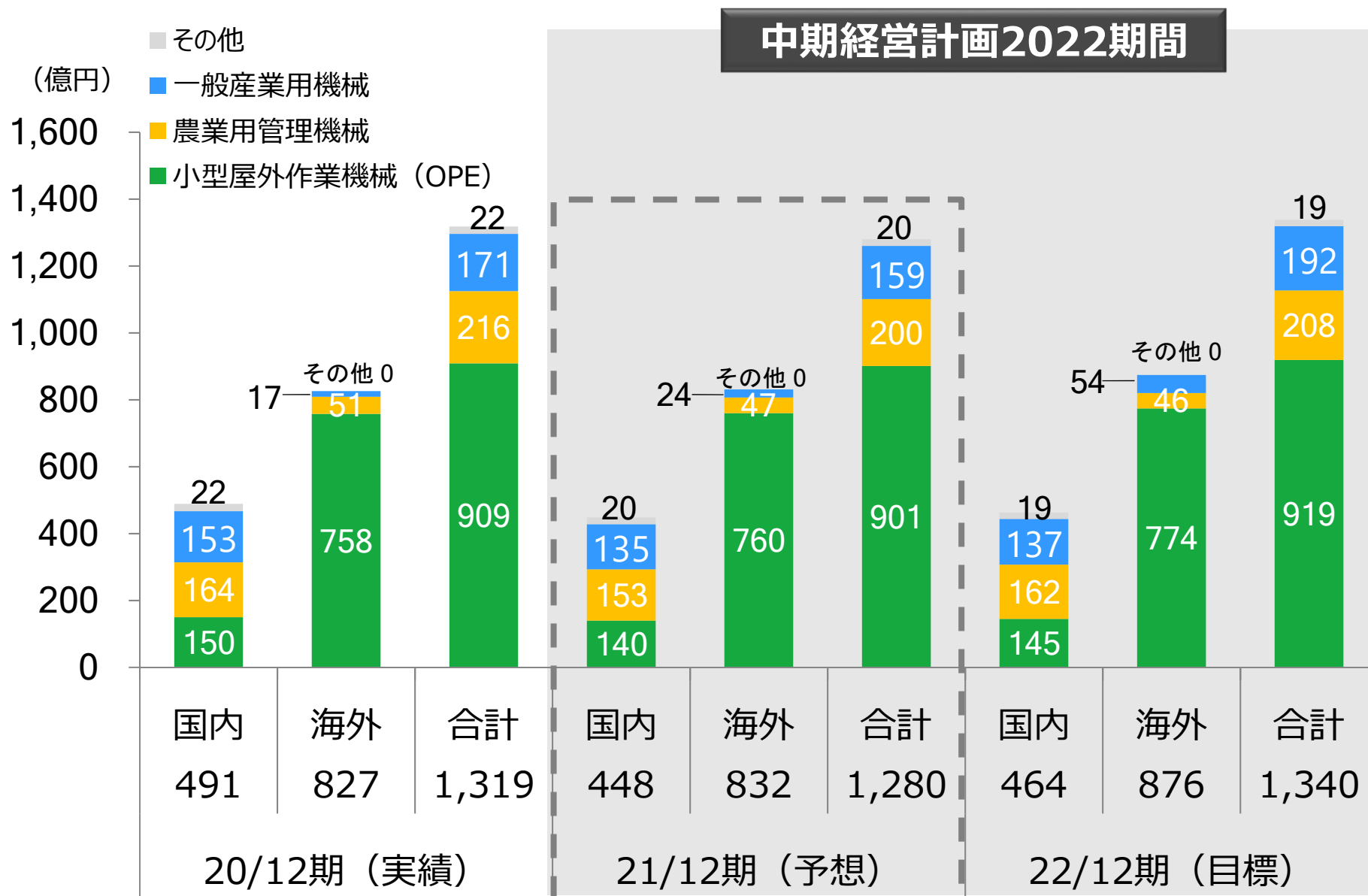
一般産業用機械
まちづくりの現場を支える



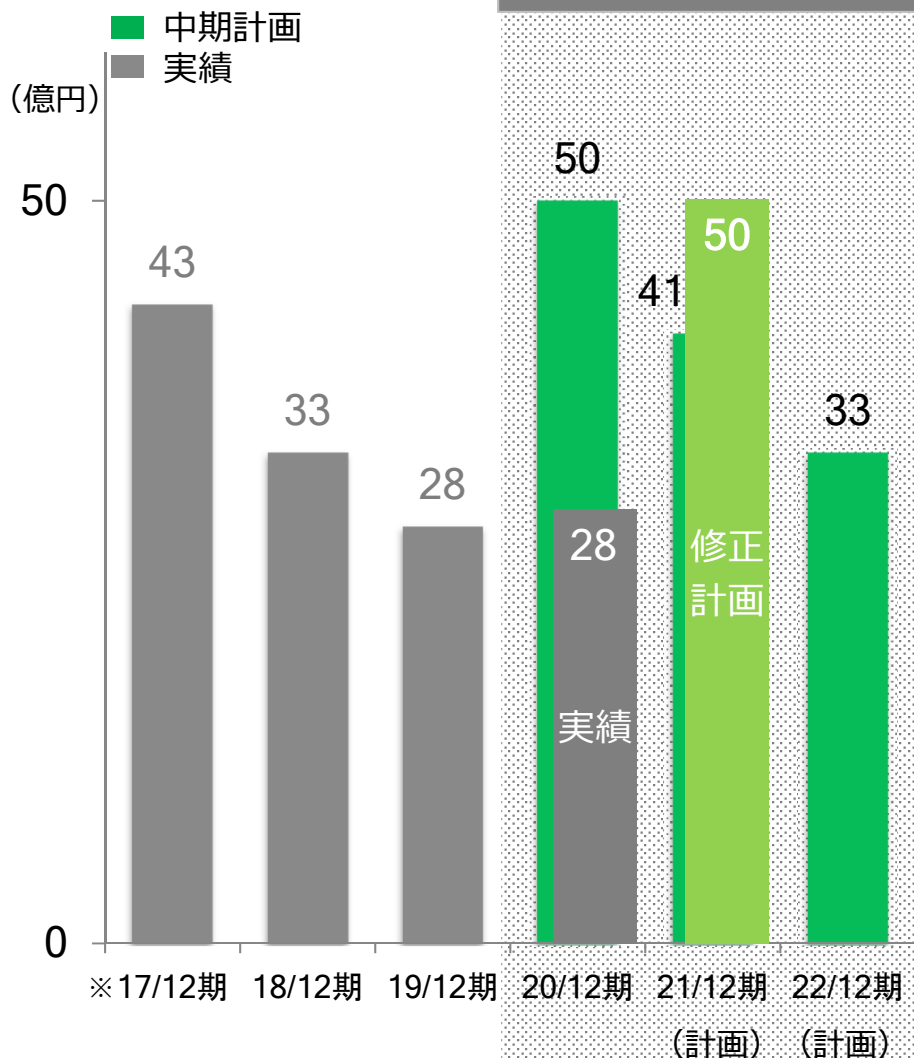
企業理念「人と自然と未来をつなぐ」をさらに浸透・深化させることを通じて、SDGsが掲げる17のゴール達成に向けて貢献し、企業価値の向上を目指します。



中期経営計画2022目標 セグメント別売上高

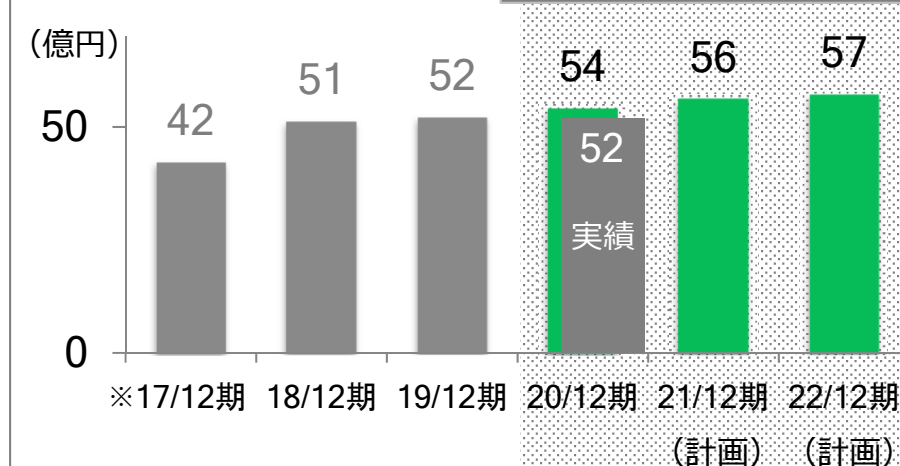


設備投資

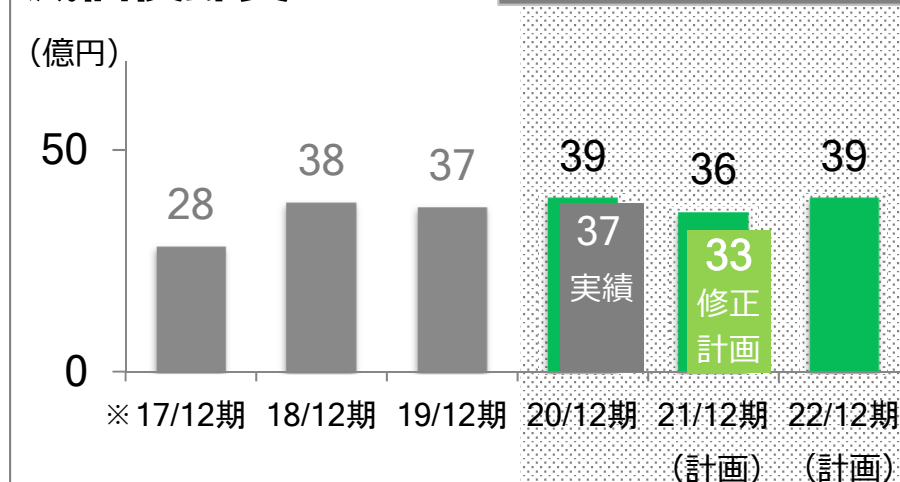


※17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

研究開発費

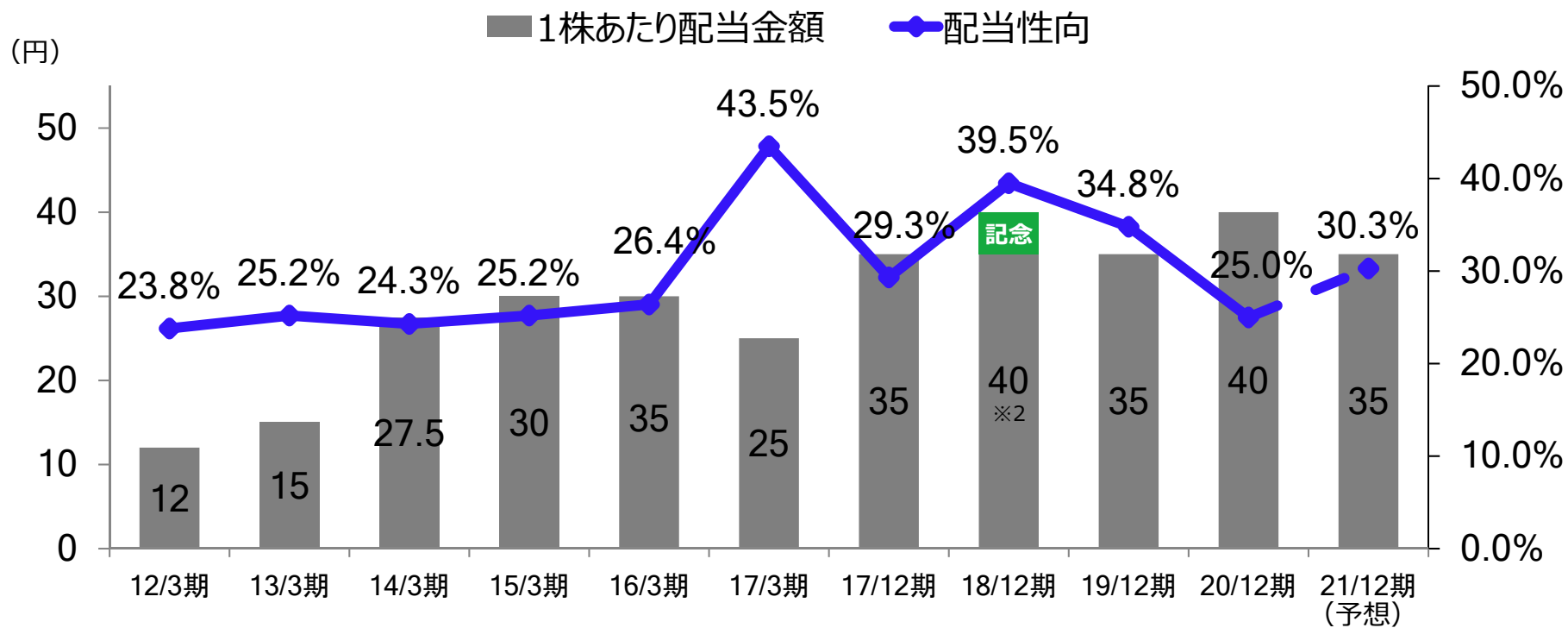


減価償却費



株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上

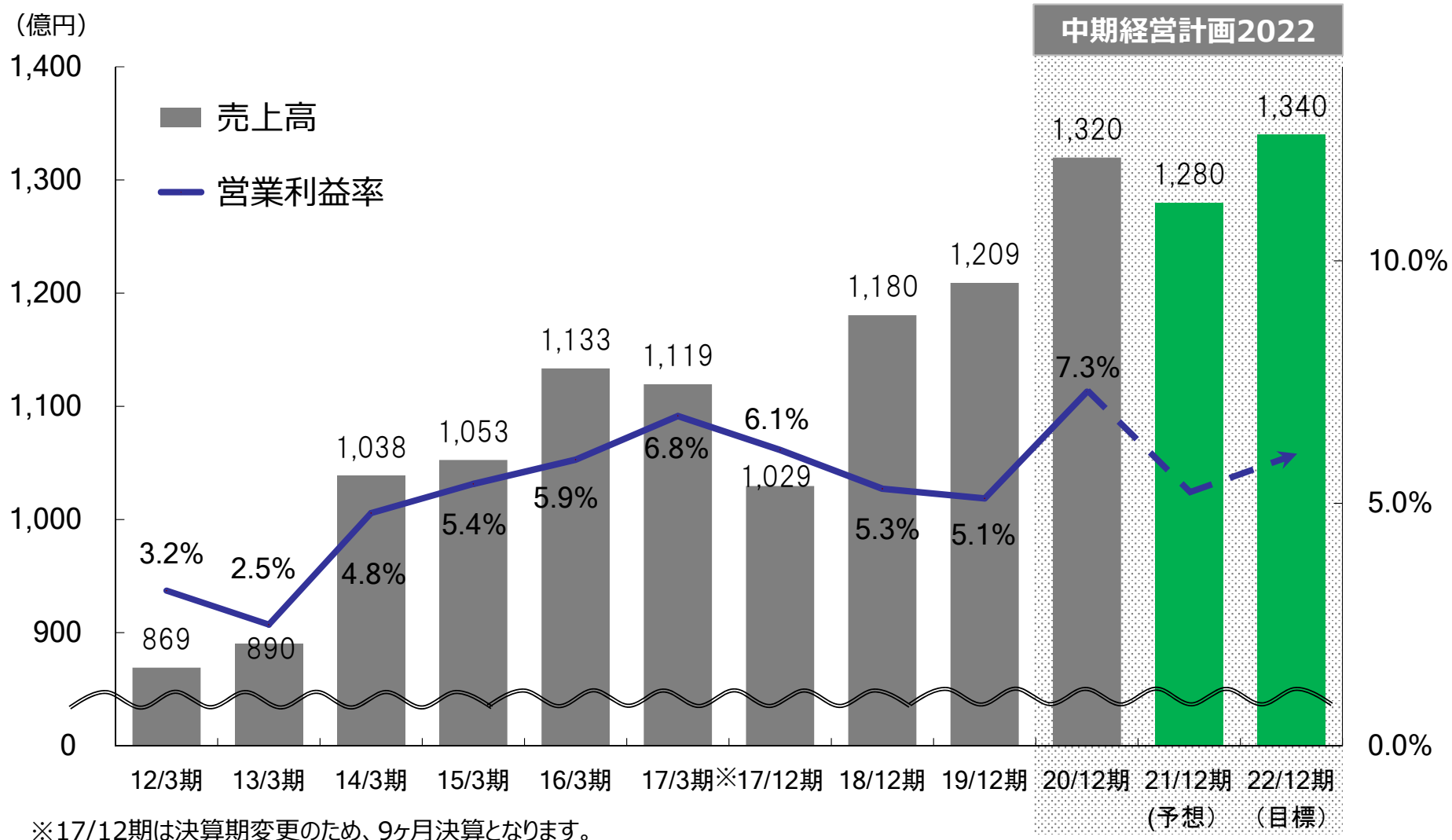


※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。
 ※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

業績推移と中期経営計画2022



設立以来、着実に成長を果たし、更なる持続的成長を図る。



添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	131,972百万円 (2020年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社／2020年12月末現在)
従 業 員 数	3,477名 (2020年12月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2020年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社2社を除いております。

<社名の由来> 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

『やまびこ』の歩み

株式会社 共立

1947年 (昭和22年)



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ ECHO

株式会社やまびこ

2008年 (平成20年)

YAMABIKO

新タイワ工業株式会社

1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

shindaiwa



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が2008年に合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ shindaiwa ECHO

小型屋外作業機械セグメント（主要製品・使用イメージ）

YAMABIKO



主に「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンなどを搭載した機械
およびロボット芝刈機の製造販売、
刈払機、チェンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマーなど



農業用管理機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



乗用管理機



スピードスプレーヤ



国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売
スピードスプレーヤ、ブームスプレーヤ、乗用管理機、畦草刈機、ポテト収穫機など



ポテト収穫機（北米）



畦草刈機

一般産業用機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



売上高構成比

13.0%

(2020年12月期)



溶接機

建設工事・国土強靱化・イベント向け機械の製造販売
発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機など

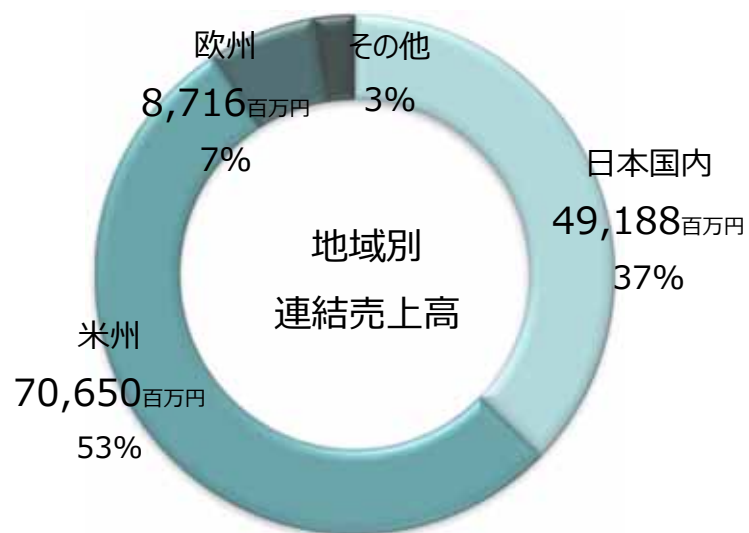
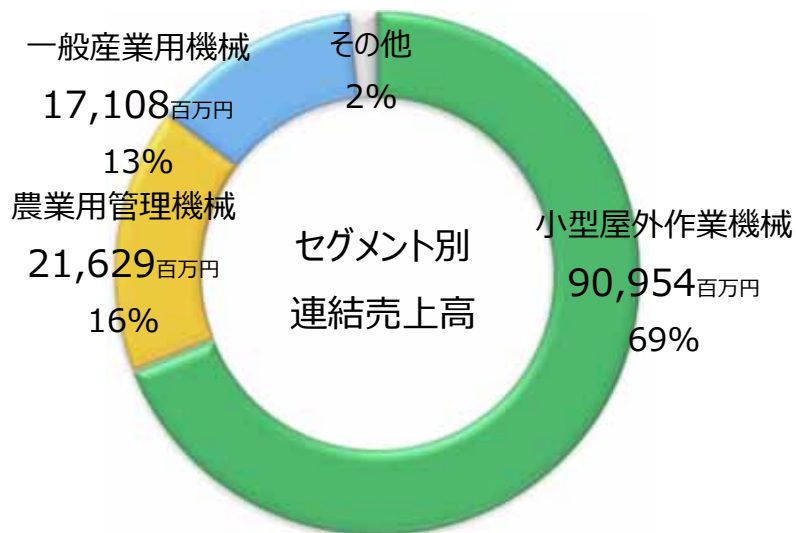


発電機

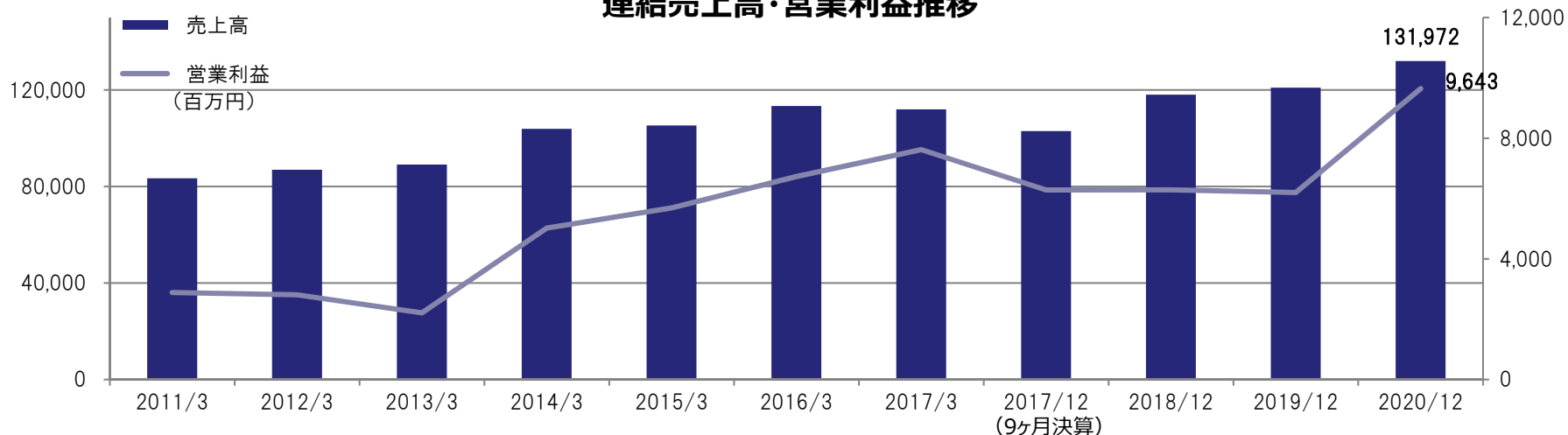


投光器

2020年12月期 連結売上高 131,972百万円

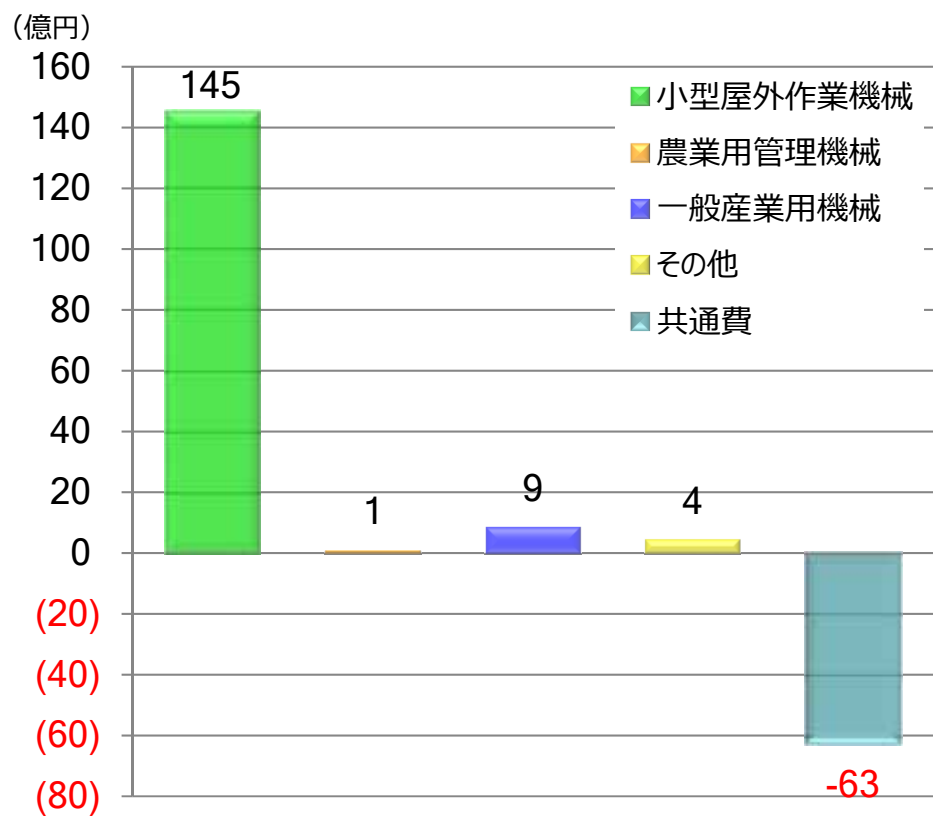


連結売上高・営業利益推移



営業利益構成

2020年12月期 連結営業利益：96億円



補足資料

海外市場における関連指標等



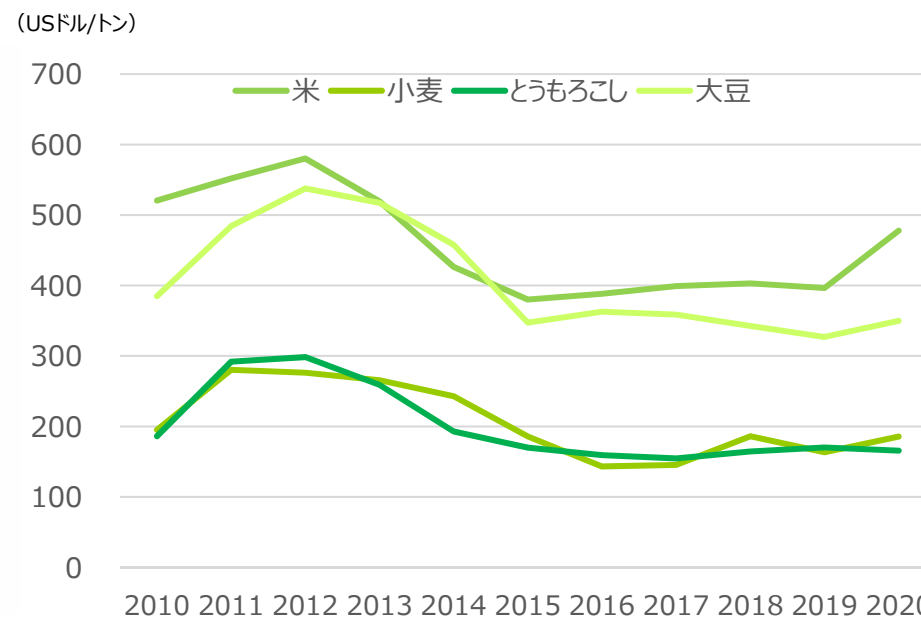
事業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

国内市場における関連指標等



事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

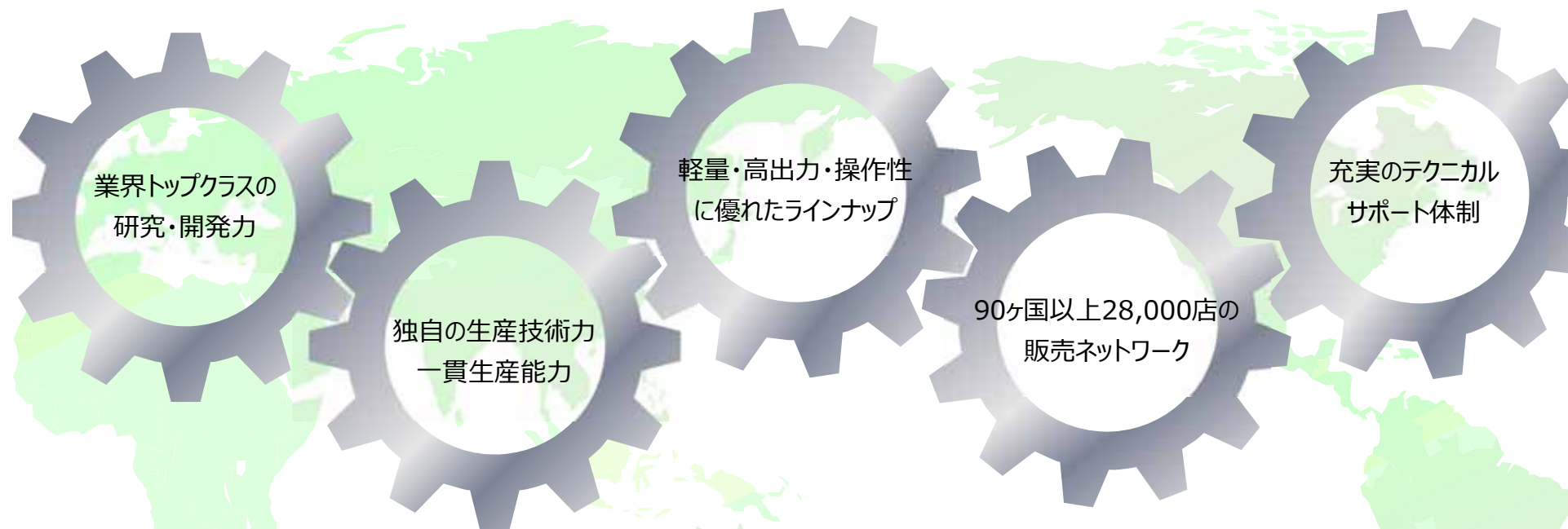
出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

“グローバル”での“高い競争力”を実現



小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開する国内ブランド



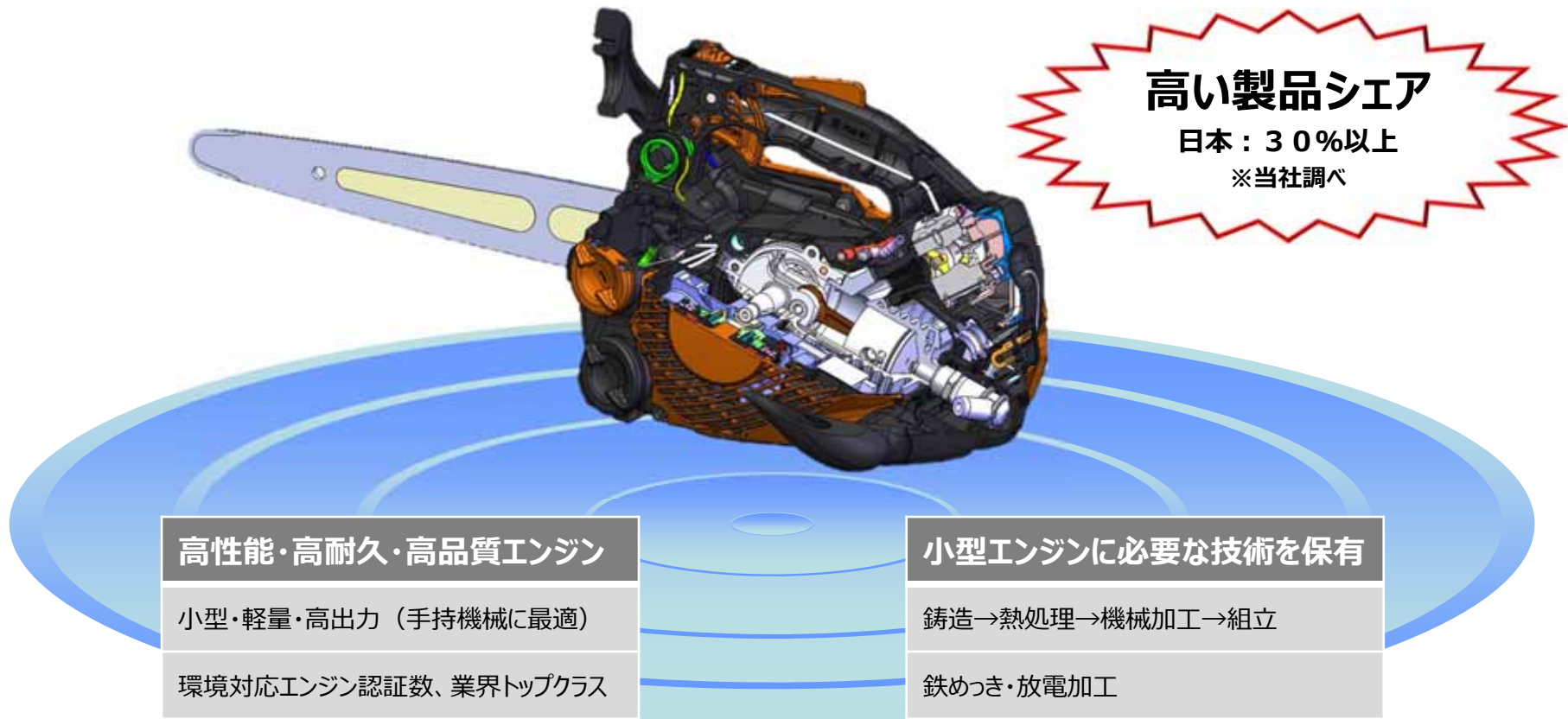
小型屋外作業機械と一般産業用機械を展開するグローバルブランド



小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開するグローバルブランド

技術的な強み 小型エンジンの開発力・生産力 (一貫生産体制)

世界最高レベルのエンジン開発力



高い製品シェア

日本：30%以上

※当社調べ

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力 (手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

鋳造→熱処理→機械加工→組立

鉄めっき・放電加工

※Outdoor Power Equipment

【3つの事業】 2. 農業用管理機械

技術的な強み 培った防除技術にICTを融合し、スマート農業を実現

送風技術

噴霧技術

散布技術

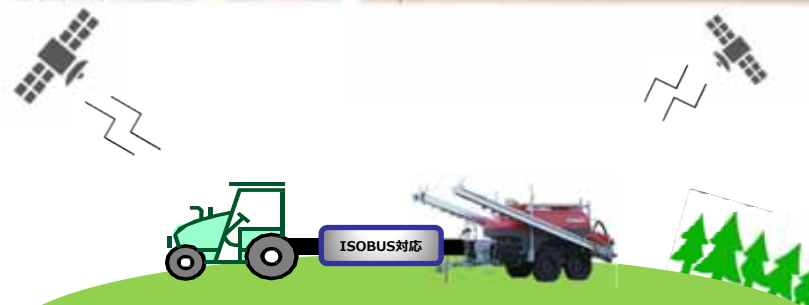
- ・水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- ・低騒音・大風量を実現する送風システムを開発。
- ・農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ICT

- ・世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- ・全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- ・設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



【3つの事業】 3. 一般産業用機械



世界初の三相/单相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



ディーゼルエンジン発電機



ディーゼルエンジン溶接機



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた
2つのエコ機能の開発

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）
防除機の製造（板金・塗装・組立 等）
※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）
発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）
※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品
双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品
株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品
やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工

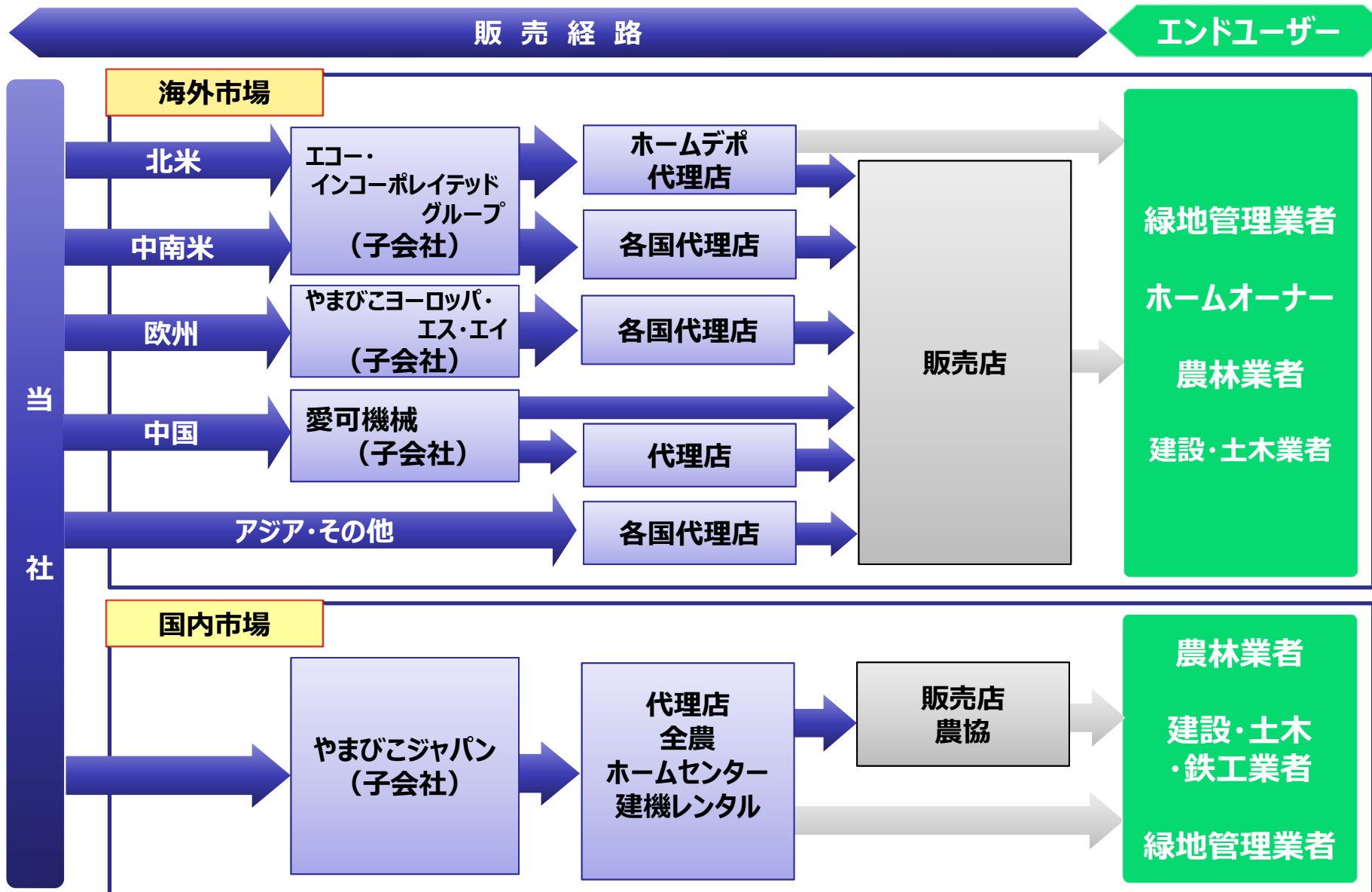


海外生産体制

- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **蘇州山彦農機有限公司（中華人民共和国 江蘇省）**
農業用管理機械の製造 ※搭載用エンジンは他メーカーから調達、一部部品は当社国内工場から支給
- **新大華機械股份有限公司（台湾 台中市）**
小型屋外作業機械の部品仕入
- **やまびこベトナム（ベトナム ビンズン省）**
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路



販売経路

エンドユーザー

販売店

海外市場



海外における販売店ではプロユーザーを意識した高付加価値製品群を取りそろえて対面販売。



ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向け品揃えする。



海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。



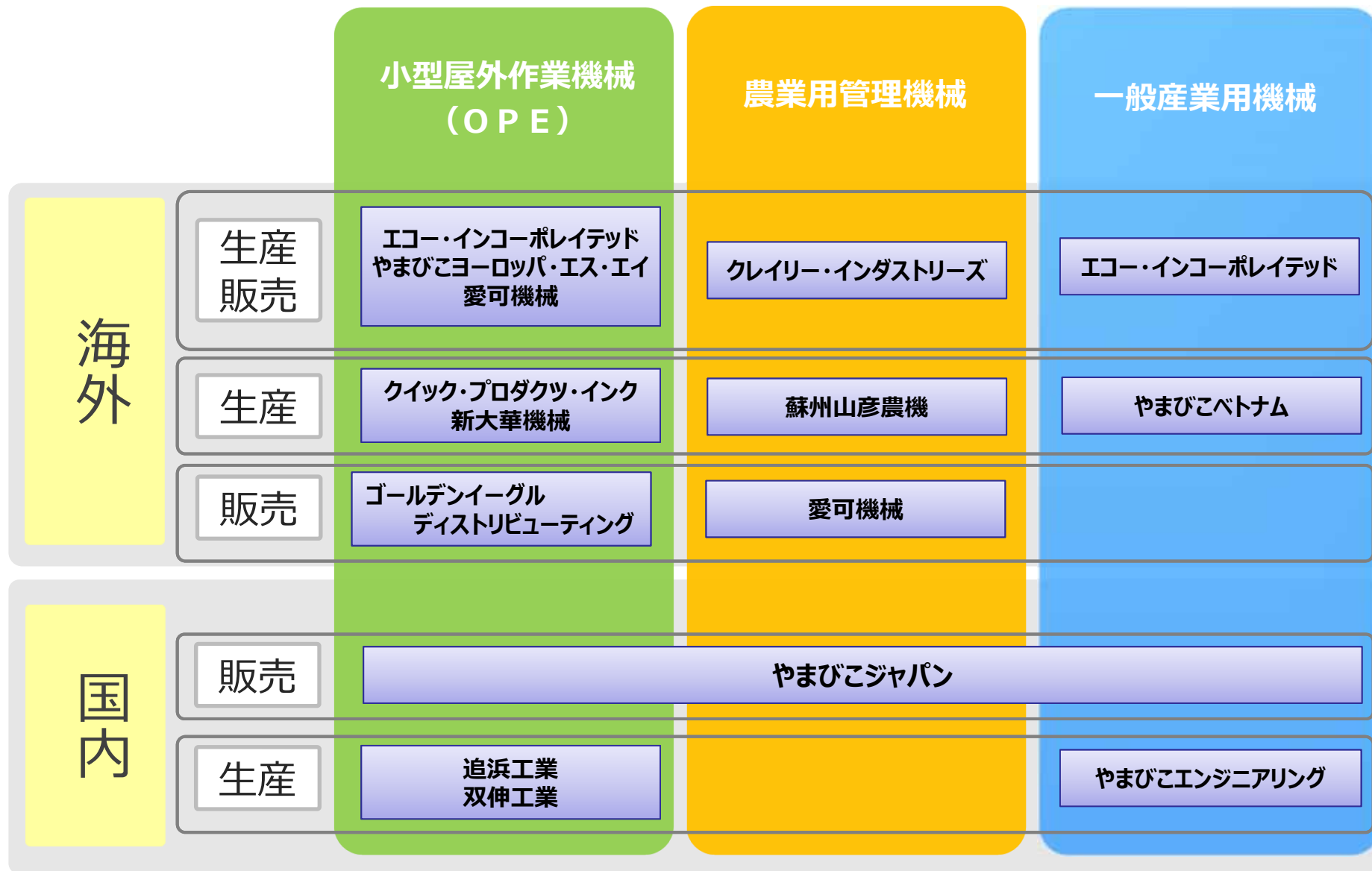
国内市場

農林業家

緑地管理業者

建設・土木
・鉄工業者

主なグループ会社の状況（2020年12月31日現在）



人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式 I R 課

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp